

令和5年度 自然史学会連合講演会

ものづくり 自然史へ から



2023.11.18 土

13:00→15:00

入場
無料

予約
不要

定員
50名

会場

名古屋大学博物館講義室

[名古屋市千種区不老町、市営地下鉄「名古屋大学」下車2番出口すぐ]

主催

自然史学会連合 / 名古屋大学博物館



Nagoya University Museum
名古屋大学博物館

令和5年度 自然史学会連合講演会

ものづくりから 自然史へ



自然史とは？

地球上のありとあらゆる自然現象を扱う学問です。
森羅万象の科学と言い換えてもいいかもしれません。
あらゆる生き物、化石、岩石、地質など、
私たちにとって身近な自然物と、
私たちを取り巻く環境すべてが研究対象です。

プログラム

開会の辞

13:00→13:30 **カメから見た日本の水辺環境のいま**
矢部 隆 (理学博士、日本カメ自然誌研究会)

13:30→14:00 **まちがった愛に追われて —繁殖干渉が変える生物分布—**
西田佐知子 (名古屋大学)

14:00→14:30 **名古屋の港に来るイルカ**
加古智哉 (名古屋港水族館)

14:30→15:00 **ムシが語る昔ばなし —500年前、1800万年前**
森 勇一 (東海シニア自然大学講師)

閉会の辞

13:00→16:00 **体験教室 (日本霊長類学会・日本菌学会)**

自然史学会連合 (<http://ujnsn.org>) は、国内39の学協会からなる研究者の組織です。講演を通じて自然史の面白さをお伝えします。

自然史学会連合加盟学協会：種生物学会、植生学会、地衣類研究会、地学団体研究会、千葉県生物学会、東京地学協会、日本遺伝学会、日本衛生動物学会、日本貝類学会、日本花粉学会、日本魚類学会、日本菌学会、日本蜘蛛学会、日本古生物学会、日本昆虫学会、日本昆虫分類学会、日本サンゴ礁学会、日本植生史学会、日本植物学会、日本植物分類学会、日本進化学会、日本人類学会、日本生態学会、日本生物地理学会、日本蘚苔類学会、日本藻類学会、日本第四紀学会、日本地衣学会、日本地質学会、日本DNA多型学会、日本鳥学会、日本地理学会、日本動物学会、日本動物分類学会、日本プランクトン学会、日本ベントス学会、日本哺乳類学会、日本鱗翅学会、日本霊長類学会

Nagoya University Museum 名古屋大学博物館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 東山キャンパス
TEL: 052-789-5767 <https://www.num.nagoya-u.ac.jp>

交通アクセス ※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください

地下鉄 名城線「名古屋大学駅」下車 2番出口すぐ

市バス 「名古屋大学前」バス停下車すぐ

- JR・名鉄・近鉄「名古屋駅」からお越しの方 (所要時間約30分)
地下鉄東山線藤が丘行き → 本山駅乗換え → 地下鉄名城線右回り → 名古屋大学駅
- JR・名鉄「金山駅」からお越しの方 (所要時間約25分)
地下鉄名城線左回り → 名古屋大学駅
- 中部国際空港からお越しの方 (所要時間約45分)
名鉄空港線 → 金山駅乗換え → 地下鉄名城線左回り → 名古屋大学駅
- バスでお越しの方 (所要時間約30~40分)
1. 「名古屋駅」4番のりばから名鉄17系統「名古屋大学」行き
2. 「栄」18番のりばから栄17系統「名古屋大学」行き



※地下鉄でお越しの場合、お身体の不自由な方や車イスの方は3番出口のエレベーターをご利用ください。